

令和元年度 第2回東郷町在宅医療・介護連携推進部会：議事録

日時	令和元年8月6日（火）14時00分～16時00分
場所	東郷町役場1階 第1会議室
出席者	委員 ※敬称略、順不同 松浦誠司 医師（東名古屋東郷町医師会） 岡松猛 歯科医師（愛豊歯科医師会東郷支部） 佐藤裕美 薬剤師（東郷町薬剤師会） 福島美佐子 訪問看護師（虹色訪問看護ステーション） 土井肇 東郷町北部地域包括支援センター 山内恵介 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑 近藤修司 居宅サービス関係（エイジトピア諸輪） 中村万季 訪問看護師（東郷町国民健康保険東郷診療所訪問看護ステーション） 近藤明美 居宅介護支援事業所（季楽居宅介護支援事業所 春夏秋冬） 松下紀夫 訪問介護事業所（東郷町社会福祉協議会） 村井良則 有識者（東名古屋医師会在宅医療介護総合研究センターやまびこ） 池田寛 有識者（豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし）
欠席者	松山陽二 居宅介護支援事業所（もみの木）
傍聴者	2名
事務局	高齢者支援課長（進行） 高齢者支援課職員 2名
議題	1 議題 (1) 在宅医療・介護連携推進部会 医療・介護フェア（講演会）について (2) 多職種カンファレンスについて (3) 在宅ケアを考える会について (4) 住民向け周知啓発物について (5) 電子@連絡帳の普及啓発について
配布資料	次第 資料1 令和元年度 東郷町在宅医療・介護連携推進部会医療・介護フェア（講演会）について 資料2 在宅ケアを考える会 inTOGO（多職種カンファレンス）について 資料3 電子@連絡帳（レガッタネットとうごう）の普及啓発について

1 あいさつ（部会長）

2 議題

（１）在宅医療・介護連携推進部会 医療・介護フェア（講演会）について

- ブースの全体テーマを、「在宅医療・介護連携の周知啓発」とする。
- 講演会の内容（認知症に関する映像上映）について検討。
 - ・資料の１番目の映像をイントロダクションとして上映し、２番目の映像を用いて、医療と介護の連携について紹介する。ただし、全部を上映できる長さではないため、一部省略できるか映像制作者と相談する。
 - ・映像制作者と町内のＮＰＯ法人職員に映像を見ながら対談をしてもらう。（ファシリテーターは、ＮＰＯ法人職員に依頼する。）映像の説明や、医療と介護の連携について実際の事例を交えながら対談してもらう。
- 講演会の内容（成年後見制度）について検討。
 - ・具体例を交えた話を依頼する。また、市民後見人についても、紹介ＤＶＤなども交えて紹介してもらう。
- ブースの内容について検討。
 - ・準備は当日（２月２日）の午前から開始する。
 - ・開場時間は１２時３０分～１７時までとする。（ただし、講演時間（１３時３０分から１６時まで）はお休みした方がよい）
 - ・ブース内容は各委員を中心に、職種・職能団体ごとに考える。何か実演できるような形だとなお良い。
 - ・次回の部会までに、具体的なブース内容を考える。

（２）多職種カンファレンスについて

- ７月の多職種カンファレンスに参加した委員から意見を聴取。
 - ・意見が多く出ていた。
 - ・グループワークがメインとなってしまう、他のグループの意見があまり聞けなかった。
 - ・何かきっかけがないと参加が難しい職種もある。
 - ・医師がグループ内にいたので、とても意見が分かりやすかった。
 - ・ファシリテーターやオブザーバーのような進行を助ける役割を、部会委員が行えると良い。
- 医師会及び歯科医師会の輪番制による参加について意向を確認。
 - ・医師会・歯科医師会ともに、今年度は難しいが来年度は努力したい。

（３）在宅ケアを考える会 inTOGO について

- 来年度の開催内容について検討。
 - ・資料案の開催内容とする。
 - ・来年度も年５回の開催とする。
 - ・年に数回、昼間や水曜日夜の開催とする。まずは試しに行い、参加状況によって再来年度に再度検討する。
 - ・各職種や職能団体への講師依頼は、事前に相談して検討してもらう。

(4) 住民向け周知啓発物について

- 各委員でホームページやチラシ内容を確認し、意見等はレガッタネットとうごうの専用プロジェクトに記入することにする。

(5) 電子@連絡帳の普及啓発について

- 普及啓発に向けて、活動方針を検討。
 - ・資料案のとおり、今年度は登録率より利用率の向上を目指す活動を行う。
 - ・訪問部隊は、鍵となる医師やケアマネジャーのもとを訪れると良い。
 - ・まずは出前講座を行うと良い。

3 その他

- 次回の部会は11月頃を予定している。

以上